

# 「両立」の山場 1人目の育休明け

子どもができれば職場では戦力外なの?! インターネットで調査した働くママたちの本音が3日、福岡市で開かれた日本心理学会で発表された。小さい子を育てながら仕事に精出すママたちは、みんなみんな悩んでいる! (河合真美江)

調べたのは、5歳の長男がいて2人目を年内に出産予定の甲南大非常勤講師の伊藤ゆかりさん(36)と、4歳の長男がいる奈良女子大講師の安藤香織さん(35)。大学時代からの友人だ。04年に調査会社に依頼し、5歳以下の子どもがいる働く女性571人から回答を得た。正規就業37%、パート・派遣社員などの非正規就業43%、自営業その他が20%。平均年齢は32歳で、子どもの数は平均1.8人だった。

就業では「残業や土日出勤、出張がある」も大きい。さらに「風邪をひきやすい、自分の体調管理がうまくいかない」「昇進が難しい」「職場の人から戦力外とみなされている」「周囲の変化についていくのが大変」などがある。だが、いまの仕事を定年まで続けたいか、という問いに正規就業の3人に1人が「続けたい」と答えた。でも「仕事は続けたい。でも長時間労働を求められ、両立に悩むお母さんが多い。周りの期待に応えようという気持ちが強くなり、育休休業をとったり早く帰ったりするのは期待を裏切ることになる」とプレッシャーが大きいという。「社会心理学者が専門の安藤さん。特に1人目の育休明けが山場とみる。張り切って復帰したのに、子どもの病気で休みがち。求められる成果が上げられず、両立に自信をなくし、やめていく。『子育てが楽しいと思う』と答えられない人が2割いる。『どこでやめないようサポートする環境が必要で、ワーキングママが働きやすく、ということは男性も含め、介護などを背負うみんなが働きやすくなることなんです』

調査結果は「ワーキングママの本音(ナカニシヤ出版)にまとめた。出産から子育てまで実体験をふまえたアドバイスも盛りだくさんだ。税抜き2400円。

# 働くママは悩みが多い!

## 子どもが病気の時、残業や出張は? 仕事続けられる?

出産と退職 厚生労働省は01年1月10~17日と7月10~17日に1人目の子を出産した女性4万7千人余りを対象に出産前後の有職率を調査。出産1年前に働いていたのは73.5%。そのうちの67.4%は出産半年後に仕事をやめていた。また、同省の調べでは04年度に出産した女性労働者の育児休業取得率は72.3%。育児休業からの復職率は89%だった。



「ママの本音」をテーマに、30代・派遣社員) 妥協はありませんが、保育園の迎えを気にして会議を途中で抜ける時など、

著者の一人、伊藤さん(36)は00年大阪大学大学院で博士課程中に長男を出産。03年に国際公共政策博士を取得。その後神戸市の人と防災未来センターに勤め、去年から甲南大の非常勤講師を務める。10月28日、大阪府豊中市で「ワーキングママの本音」をテーマに講演した。

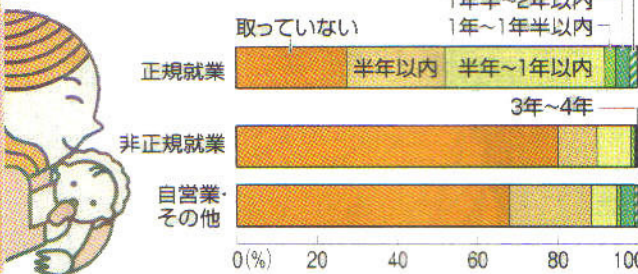
ママに伊藤さんの講演会が開かれた。参加した働くママ10人ほどが伊藤さんを囲み、「本音」をお話した。★子育てをしながらの仕事をサポートすることはありますか? (30代・派遣社員) 妥協はありませんが、保育園の迎えを気にして会議を途中で抜ける時など、

産むか産まないか。1人目の壁は大きい。やめるか産まないかの選択ではなく、形にとられず働き続けること。後からくる人のために、先例を作らなくていい。家庭で60点、仕事で60点とれば120点! 完璧を求めず、ベストを尽くしましょう。

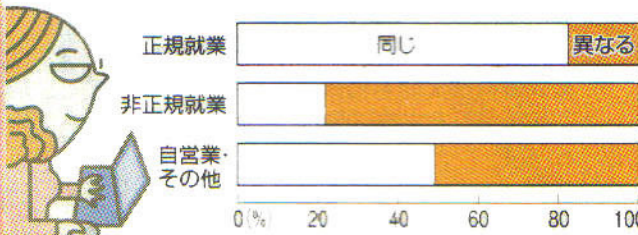
## ■ご近所や友人、協力態勢 何重にも ■家庭と仕事 60点も取れば上出来

ママに伊藤さんの講演会が開かれた。参加した働くママ10人ほどが伊藤さんを囲み、「本音」をお話した。★子育てをしながらの仕事をサポートすることはありますか? (30代・派遣社員) 妥協はありませんが、保育園の迎えを気にして会議を途中で抜ける時など、

### ●育児休業の期間



### ●現在の職場は出産前と同じ職場か



### ●仕事を辞めるか悩んだことがあるか



### ●働く理由

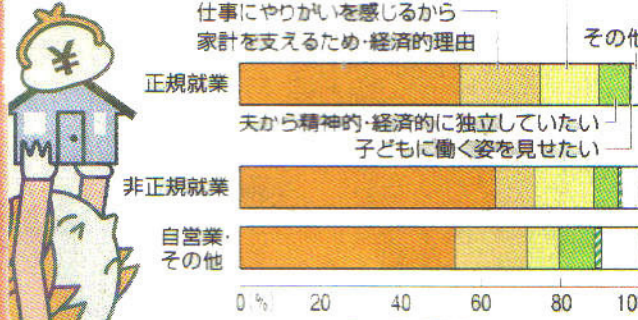


イラスト:西森万寿子/The Asahi Shimbun